

学校体育のベースボール型ゲームにおける打撃動作指導に関する研究

A study of teaching the motion of batting a ball in striking / fielding games in elementary school

1K04B168-4

二本松 辰哉

指導教員

主査 志々田文明先生

副査 吉永武史先生

目的

現行の小学校学習指導要領では、中学年のゲーム領域にベースボール型ゲームが位置づけられている(文科省, 1999, p. 83).

しかしながら、ベースボール型ゲームには、非日常的ボール操作の技能の複雑さが具備されていて、なかでも、動くボールを道具で打ち、できるだけ遠くへあるいは守備プレーヤーのいない所へ運ぶという打撃動作は高度な技能が要求される。そのため、授業では複雑な打撃動作を簡略化した教材が採択されることが多く、打撃動作の技能を高めることができないままとなっている。

そこで、本研究では、ベースボール型ゲームにおける打撃動作を小学校中学年段階において指導する意義や必要性を検討し、その上で児童が打撃動作を習得する為の効果的な指導のあり方について検討することにした。

方法

まず、小学校体育におけるベースボール型ゲームの現状、ベースボール型ゲームの持つ特性を挙げ、その上で既存の文献を用いながらベースボール型ゲームにおける打撃動作を小学校中学年段階において指導する意義や必要性を検討する。

次に、打撃動作に関する効果的な指導について検討するための実験を行う。既存の文献と研究者本人の経験から打撃技術のポイントを設定し、それに基づいた単元計画を作成する。実験は「事前測定→単元→事後測定」という3つのプロセスで行い、事前測定と事後測定の打撃の飛距離とフォーム得点、診断的・総括的授業評価の結果を比較し、本単元で設定したベースボール型ゲーム指導の効果についての検討を試みる。フォーム得点については、試打を行う児童を真横から撮影した映像で研究者本人を含む大学野球部コーチ経験者2名によって評価を行う。診断的・総括的授業評価については、診断的授業評価の調査票(高橋, 2003, p. 158)を用いて、単元前における児童の体育授業に対する意識を運動目標や情意目標の観点から評価する。

統計処理に関しては、統計処理ソフト SPSS 14.0 for Windows を用いた。なお、有意水準は5%とした。

結果

診断的・総括的授業評価は、単元前から上位目標、思考・判断、運動目標、社会的行動目標のいずれも5段階評価中最高5点であり、それは単元後の総

括的評価においても変わらず、全目標が5段階評価中5で維持された。

測定間における児童の打撃飛距離の比較については、関連2群間t検定を実施した結果、事前測定と事後測定との間で有意差が認められた($t = -2.842, p < .01$)。

測定間における児童の打撃フォーム得点の比較については、統計処理をした結果、事前測定と事後測定との間で有意差が認められた($z = -3.85, p < .001$)。「構え」「ステップ」「スイング」という段階別で統計処理を行ったところ、「構え」「ステップ」には有意差が見られたが、「スイング」においては有意差が見られなかった。

考察

診断的・総括的授業評価が5で維持されたことから、本単元によって児童の学習意欲の低下などの影響はなかったと言える。ただし、今回の実験においては対象となった児童たちの単元前の診断的授業評価の数値が高く、単元後の総括的授業評価において値が向上しなかったため、単元を行う前よりも児童の学習意欲が上がったとは示すことができなかった。

測定間における児童の打撃飛距離で有意差が認められたことから、単元での指導が打球飛距離を伸ばす効果があったということがわかる。飛距離が下がった児童に関しては、試打が2回と少なかったために、ボールをうまく捉えられるか否かにばらつきが多かったためと考えられる。

また、測定間における児童の打撃フォーム得点の比較で有意差が認められたことから、単元での指導が打撃フォームの改善にも効果を挙げたと言える。しかし、段階別の統計処理で「構え」「ステップ」には有意差が見られたが、「スイング」においては有意差が見られなかったことから、今回の指導方法では「構え」や「ステップ」の部分のフォームは修正することができたが、「スイング」は修正できなかったと言える。原因として、「スイング」の部分は打撃プロセスの中で最も激しく動く部分であり、随意で細かな動きを修正することが難しいということが考えられる。

結論

以上から、小学校中学年の体育授業におけるベースボール型ゲームの打撃の指導は、構えやステップ時のフォームを中心に指導していくことが有効であると思われる。